

図1 苗作り

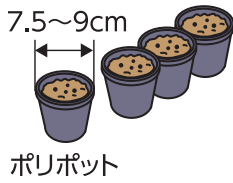


図2 施肥・耕うん

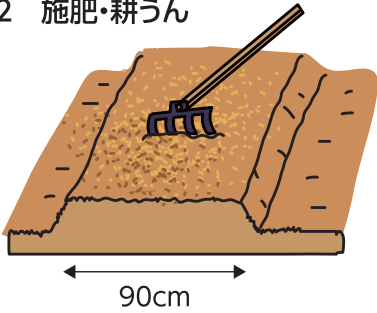


図3 マルチ張り

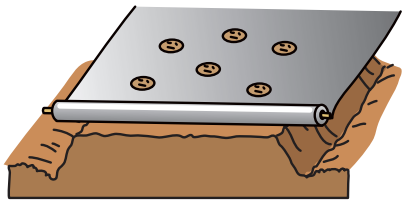
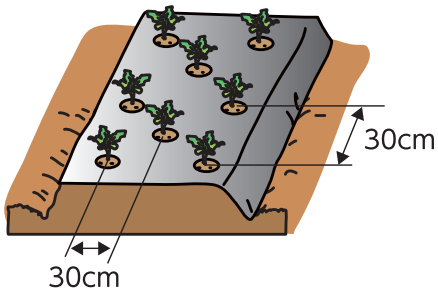


図4 植え付け



本文で紹介した種子などは、JAでお取り寄せできます

チャレンジ! 野菜作り

サラダ野菜の王様 レタス



園芸研究家 成松次郎

サラダの主役・レタスは、ビタミンCやカロテン、葉酸、カリウムなどを含み、低カロリーです。レタスの生育には15〜20℃と冷涼な気候が良く、日が長くなる春〜夏にとっ立ち(花を咲かせる芽が伸びること)します。一般的に8月中〜下旬に種まきを行って、11〜12月に収穫します。

品種は、中生系の「シスコ」(タキイ種苗)などがオススメです。

【育苗】

小型ポットに種を5〜6粒まき(図1)、発芽まで灌水を十分行い、まき床を新聞紙で覆うなど、土の乾燥を防ぎましょう。

育苗中は、トンネルやよしずを掛けて強い日差しを避け、本葉が2〜3枚になったら間引いて1本立ちにします。本葉が4〜5枚になれば苗の完成です。

【畑の準備】

植え付け2週間前までに、苦土石灰を1㎡あたり100g散布しよく耕しましょう。

次に、植え付け1週間前までにN・P・K比が各10%の化成肥料(固形30号など)150gと堆肥2kgを施し、幅90cmの栽培床を作ります(図2)。

【植え付けと追肥】

平らにした栽培床に黒マルチを張って(図3)、苗を条間・株間各30cmの3条植えにします(図4)。レタスが結球し始めた頃、株の間のマルチに指で穴を開け、化成肥料を1㎡あたり50gまき、薄く土を掛けておきましょう。

【病害虫防除】

地際で茎が切れる被害が出たら、ネキリムシを疑って虫を探しましょう。株元を浅く掘って虫を探します。夜中に葉や茎を食い荒らすヨトウムシは、B.T剤(トアロー水和剤CTなど)で防除します。

【収穫】

葉が巻き、球を押ししてみるとやや弾力がある頃が収穫の目安です。切り口から白い乳液が出るので、布などで拭き取りましょう。

肥料・農薬のご紹介

試してみよう!

便利な展着剤!



薬剤を噴霧した時に、ほとんど付着せず、流れ落ちてしまったことはありませんか?

そんな時には、展着剤を使ってみましょう。

- ①薬剤の付着性を高める
 - ②薬剤を水に溶けやすくする
 - ③薬剤を含む水滴が、葉や実の表面に広がりやすくなる
- などの効果で薬の働きを助けます。

特にキャベツやアスパラガス、タマネギ、ネギなどは、水滴をはじきやすいので、展着剤が大活躍します。

展着剤は、茎葉処理除草剤用、殺虫殺菌剤用など、様々なタイプがあるので、用途に合ったものをお選びください。

※ご不明な点は各営農センターへお気軽にお問い合わせください